

社会福祉協議会が 車椅子を寄贈



社会福祉協議会（大島司会長）がアルミ製空き缶のリングブルを集め「リングブル再生ネットワーク」を通じて交換した車いす1台を、大留町内会（明上廣男会長）に寄贈しました。

寄贈された車椅子は現在整備が進められている大留地区複合施設で利用される予定とのことです。

社協では約9年間で840キロのリングブルを収集し、700キロが交換条件のアルミ素材で製造した軽量型自走式車椅子1台と交換したとのことで、大島会長は「協力いただいた皆さんに感謝しています」と謝辞を述べられました。

町内3小学校で 農作業体験授業



5月31日から6月2日の期間、町内3つの小学校で北海道農業士の指導のもと、農作業体験授業が実施されました。

そのうち上ノ国小学校では全学年の児童がサツマイモの切り苗定植、スイートコーン、落花生の種まきを行いました。

児童たちは慣れないながらも農業士の鈴木亨さん（字新村）の指導を受けながら楽しみなながらも一生懸命に農作業を行っていました。

今回植えられた作物は秋ごろに収穫され、調理実習等に使用されるということです。

上ノ国保育所で ニオ（エゾニユウ）採取



5月17日、上ノ国保育所の園児たちが、元気にニオ（エゾニユウ）を採取していました。

ニオ（エゾニユウ）は栄養価が高く、道南地方の伝統料理であるくじら汁や煮物などにして食される山菜です。

採取されたニオは下処理として園児たちが自分たちの手で皮をむいてスジをとり、塩漬けにしました。

下処理されたニオは冬まで保存し、園児たちは自分たちの採取したニオを調理して食べることを楽しみにしている様子でした。

『神の國カレー』 いよいよ販売開始



6月16日、上ノ国町の新たな特産品として開発された『神の國カレー』の販売が開始されました。

このカレーは原材料に（株）森農場（字桂岡）の豚肉と町内産のメークインを使用したカレーで、試作品のモニタリング調査では味の評判も良く、上ノ国町の特産品として今後の展開が期待されます。

価格は630円、「シヨッピンダ小林」、「ぶらつと江差」や「道の駅あつさぶ」などで販売されているほか、上ノ国町ふるさと寄附の返礼品としても取り扱われており、今後は取り扱い店舗の拡大を図っていくとのことでした。